

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 6年 3月 定例会	
議案番号 議案名	議案第56号 令和5年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第2回)
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>日本共産党は、「賛否など態度決定に至った理由」について、議会での討論も行わずにこのように掲載することは、議会軽視につながると考え、議会で討論を行ったもののみ、その討論全文を掲載する。</p> <p>「日本共産党のミール計恵です。議案第 56 号「松戸市松戸競輪特別会計補正予算」(第 2 回)について、会派を代表して反対の立場から討論いたします。</p> <p>本補正予算は主にインターネットによる車券の売り上げ増加による補正要求です。近年はコロナ禍もあり、在宅時間が増え、スマホなどで車券を買う方が増加しており、車券販売も好調だということです。しかし利用者が増えればそれだけ依存症の方が増える可能性があります。</p> <p>「公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンター」での相談件数は2019年以降でも毎年10%以上増加し続けている現状からも、依存症対策は欠かせません。しかし実効性のある依存症対策が行われているのかは疑問です。</p> <p>数年前に松戸市でも講演会を行っている、公益社団法人「ギャンブル依存症問題を考える会」の田中紀子代表によると、依存症になりやすい傾向は、遺伝と環境があるとのこと。特に環境では、若いころからギャンブルをする環境があったことや、家族を通して幼少期に体験をしているとそのリスクが上がるそうです。</p> <p>今年度は記念競輪でVtuberを起用したイベントを行い、若年層や家族連れも多く来場したとのことでした。市の公式キャラクターでない Vtuber を使ったイベントは、市の公式キャラクターと認識される可能性があり整理が必要です。</p> <p>また、家族連れで競輪場に来場しやすい環境を作ることで、競輪場への敷居を下げ、若いうちからギャンブルに触れる環境を作っているのではないかと思います。その点も市には問題意識として持っていたいただきたいと思います。</p> <p>また、田中代表によると、相談業務を行う中で、若い方が非常に増えていて、さらにギャンブルによる借金の額も大きくなっているとの</p>

ことです。スマホにより在宅で公営ギャンブルやオンラインカジノに簡単にアクセスできる環境が若者のギャンブル依存を増やしている可能性を指摘しています。

審査では松戸市の競輪場における相談件数を確認しましたが、今年もまだ実績はないとのことでした。全国でも競輪における相談件数は3件とその実効性は疑問です。また市では依存症の実態把握についても行っておらず、依存症対策も注意喚起や相談先の案内など十分とは言えない状況であり、看過できません。

また、公営競技の唯一の存在根拠は、「財政への貢献」ですが、車券購入者が増えれば増えるほど依存症の方が増える可能性があり、売り上げ増を手放して喜ぶべきではありません。ギャンブルを公営で行う仕組みそのものに問題があると思います。このような矛盾を抱える競輪事業からは一日も早く撤退すべきです。

この間一貫してわが会派は市の競輪事業からの撤退を主張しており、今回の補正予算案についてもその立場から反対を申し上げ討論とします。」